

 日本語版 ニュースレター	No.47 平成 18 年(2006 年)3 月 17 日発行 北海道・マサチューセッツ協会 会長 森本 正夫
<i>Hokkaido/Massachusetts Society</i> 北海道・マサチューセッツ協会 会報	発行所 〒060-0003 札幌市中央区北 3 条西 7 丁目 道庁別館 12 階 TEL011-231-3392 FAX 011-231-3666 発行人 中 垣 正 史 E-mail:homas@siren.ocn.ne.jp

北海道開拓の基礎を築いた指導者たち ⑤

本道の病院施設の充実や治療法の指導に尽力したカッター ー学校生徒の身体検査・住民の診察やクマの解剖などの草分けー

明治政府は、北海道開拓のために、明治 2 年(1869)に開拓使を設置し、顧問として米国農務省長官ホーレス・ケプロン(1804～1885)一行、地質測量のベンジャミン S・ライマン(1835～1920)、農業牧畜のエドウィン・ダン(1848～1931)等を迎え、その優れた指導力のもとに、いろいろな開拓事業を進めました。そして将来の人材育成のために、明治 4・5 年には多数の留学生をアメリカ・フランス・ロシアに派遣しています。さらに、即戦力となる技術を身に付けた人材育成を目的とする高等教育機関の創設を意図し、明治 5 年 3 月、開拓使仮学校(東京芝)開設、明治 8 年 9 月に札幌に移して「札幌学校」とし(札幌農学校の前身)、その模範を米国に求めたのでした。

時の開拓次官黒田清隆の努力により、マサチューセッツ農科大学学長クラーク博士(1826～1886)とその教え子のホイーラー(1851～1932)、ペンハロー(1854～1910)の 3 名を迎えて、明治 9 年(1876)8 月、札幌農学校を開校しました。それは、アマーστοカレッジ及びマサチューセッツ農科大学の伝統を範としたものでした。その後も外国人教師として、ブルックス(1851～1938)、カッター(1851～1909)を迎え、さらにピーボディ(明 11、12 着任ー明 14、7 離任)、サマーズ(明 13、6 着任ー明 15、6 離任)、ストックブリッジ(明 18、5 着任ー明 22、1 離任)、ヘート(明 21、1 着任ー明 25、8 離任)、ブリガム(明 22、1 着任ー明 26、11 離任。外国人教師の最後)など合計 10 名を迎えています。これら札幌農学校初期の米国マサチューセッツ州出身の教師は、総じて勤勉で献身的に職務以外の仕事にも非常に熱心に取り組み、ほんとうに北海道開拓期の立派な指導者でした。

今回は、明治 11 年(1878) 9 月来札、当初 2 年の契約を再三にわたり更新し、札幌農学校在職はブルックス(10 年半)に次いで長い 8 年半となったジョン C、カッター(1851ー1909)の業績について取り上げてみたいと思います。

2006～2007 北海道・マサチューセッツ協会関連イベント (案)

- 2006 年 5 月 9 日(火) 平成 18 年度理事会・総会、ミニコンサート(クラリネット奏者・渡部大三郎氏)
- 6 月 10 日(土) 北海道を知る歴史発見の旅シリーズ①ー三角山・大倉山コースー
- 6 月 24 日(土) 平成 18 年度第 1 回国際交流ランチセミナー(ヒルトン小樽「特設レストラン」会場)
- 7 月 15 日(土) 北海道を知る歴史発見の旅シリーズ②ー円山公園・北海道神宮境内・円山八十八ヶ所登山コース
- 8 月 12 日(土) 北海道を知る歴史発見の旅シリーズ③ー時計台・大通公園散策・札幌市資料館コース
- 9 月 9 日(土) 北海道を知る歴史発見の旅シリーズ④ー赤れんが・北 3 条通り永山邸・開拓使麦酒醸造所コース
- 10 月 7 日(土) 北海道を知る歴史発見の旅シリーズ⑤ー藻岩山観音霊場めぐり登山・十五夜お月見夕食会コース
- 10 月 28 日(土) 平成 18 年度第 2 回国際交流ランチセミナー(「テラスレストラン kitara」会場)
- 2007 年 2 月 17 日(土) 平成 18 年度第 3 回国際交流ランチセミナー(KKR ホテル札幌レストラン「マイヨール」会場)

ジョン・クラレンス・カッターは、1851年7月10日、マサチューセッツ州ウォレン（ウースターの南西部）で優秀な医師カルヴィン・カッターの長男として出生。名家の出であった母親も、夫の著作活動を手伝うほどの教養のある女性であったといわれ、この家庭環境が後の博學で教養豊かなカッターを育む素地となったのではないかとされています。

カッターは、1872(明 5)マサチューセッツ農科大学卒業後、フィラデルフィアのリップンコット出版社勤務を経て、ダートマス大学医学部聴講 2 年の後、ボストン市立病院の外科医となっています。

その後、ハーバード大学医学部に入学、1877 年(明 10)卒業。クラーク博士の推挙により、1878 年（明 11）9 月来札しています。札幌農学校の英学・生理学教授として招かれました。また、獣医学・水産学教育の創始者といわれます。札幌農学校校医・開拓使医学顧問を兼任、さらに官立札幌病院においても医師の指導及び一般患者の診療に当たるなど医師として献身的に活動したといわれます。札幌農学校の教育方針は、クラーク博士をはじめ多くの外国人教師の指導は、専門科目のみならず「汎く諸派に渉る」学課に及びました。

札幌農学校出身の大英学者といわれる新渡戸稲造は、後年回顧して、カッターの英語・英文学の授業が教養豊かな人格に裏打ちされたきわめて優秀なものであったと絶賛しています。

カッターは病院施設の充実や学生の健康管理についても細心の注意を払い、定期的な身体検査も実施しました。また、無医村地区へ治療に出かけることもあったといわれます。

カッターは多くの外国人教師の中で、最高の学職を有する篤実な人格者として人々の尊敬を集めたといわれます。契約期間は、2 年でしたが、契約更新を重ねて、札幌に 8 年 4 ヶ月在住。1887 年(明 20)1 月 20 日、ヨーロッパ経由で帰国しました。明治政府は、カッターの多年にわたる教育・診療指導の功績に対して、帰国に際し勲 4 等旭日小綬章を授与しました。カッターはこのことを終生の誇りとしたといわれます。

帰国後は、1887 年(明 20)、医学研究のため 1 年間ドイツ留学。マサチューセッツ州ウースター市で病院を開業しています。しかし、1893 年(明 26)母没後は、医院を閉鎖して、メキシコ、カリフォルニア州で過ごし、米国各州を旅行しています。

1897 年(明 30)以後は、医院開業時の感染による敗血病に加えて卒中にかかり体調をくずして、没するまでずっと病身でした。1909 年(明 42)、2 月 2 日、脳出血により死去しました。享年 57 歳でした。生涯独身。ウォレンの墓地に埋葬され、墓碑には、日本政府から授与された勲 4 等を示す「Meiji IV Japan」が刻まれています。

1910 年(明 43)、遺言により札幌市民のための「公共水飲み場」建設資金が札幌市に寄付されました。五百ドル(当時の日本円で 1,025 円 19 銭)は銀行に預金されたままとなり、諸般の事情により昭和 13 年(1938)大通公園聖恩碑建設に際し、その四隅に「水飲み場」が設けられ、昭和 14 年(1939)に完成しています。その資金としては、その時元利合計 4,215 円となっていた「カッターの寄付金」が支出されたのです。

この「カッターさんの水飲み場」は、今日その歴史的由来はほとんど知られることなく、ひっそりと存在しています。

この「カッターさんの水飲み場」については、北 1 西 5 の元道立美術館前のニレの木の下に昭和 12 年ごろ造られたものという説が有力で、昭和 42 年道路拡張工事の犠牲となって、老木と一緒に撤去されたというのが通説となっていました。

しかし、札幌市内の医師宮下舜一氏の調査研究により昭和 60 年になって次のことが解明されたのです。昭和 12 年の札幌市決裁文書に「聖恩碑の着工に 28,215 円支出することで市会の議決を得た」とあり、その中に「カッター氏寄付金 4,215 円」も含まれるという記述が確認されたのです

平成 17 年度第 3 回 国際交流ランチセミナー 記録(抄)

テーマ 「新しい国際交流を求めて～異文化理解のふれあい～」

日 時 平成 18 年 2 月 18 日(土) 11:00～14:00

場 所 KKR ホテル札幌(札幌市中央区北 4 条西 5 丁目)
2F レストラン「マイヨール」

ゲスト:

ニコラス トーセック	(札幌市教委 ALT)	(アメリカ)	(M)
チェルシー コンリン	(札幌市教委 ALT)	(アメリカ)	(F)
メイブ デリー	(札幌市教委 ALT)	(アイルランド)	(F)
ニコラス アンジェラ	(札幌東商業高校 ALT)	(オーストラリア)	(F)

<JICA 海外技術研修員 5 名>

アブディラザコヴァ	アイグル エシエムビコヴァ	(キルギス)	(F)
アマノヴァ	ジャズグル アブディカディロヴァ	(キルギス)	(F)
カルムカメドフ	ドニヨル	(ウズベキスタン)	(M)
ジュマヌヤソフ	マンスルベク アブデュシェリボビッチ	(ウズベキスタン)	(M)
サドゥカン	サリル クマル	(インド)	(M)

概要: この国際交流ランチセミナーは、新しいスタイルとして、マサチューセッツ州とのつながりに基本理念を置きながら、広く多国籍の外国人をゲストとしてお招きして、異文化理解・多文化共生の国際交流昼食会という形で実施しております。あわせて、会員同志の意見交換・交流の場にもなることを目指しています。

今回は、札幌市教委 ALT3 名、札幌東商業高校 ALT1 名、JICA 海外技術研修員 5 名、6 力国から合計 9 名のゲストをお招きしました。各テーブル(1～2 名)毎にゲストを囲んで、ランチを食べながら、異文化交流の話をさせていただき、すばらしい国際交流の時間を共有していただきました。

ここには、紙面の都合上、ゲストのショートスピーチのみをご紹介します。
今回の参加者は合計 38 名。(通訳翻訳は、当協会会員・岩崎修子さん)

チェルシー コンリン (アメリカ) 札幌市教委 ALT(女性)

私は、チェルシー・コンリンと申します。アメリカ合衆国のニューヨーク州出身です。日本には 1 年半前に来まして、現在札幌の中学校で、英語の補助教員をしています。[資料: 国土面積は日本の約 26 倍。人口 2.6 億人]

今日は私にとって、とても大切なこと——動物のすることについて話したいと思います。ほとんどのアメリカ人は動物、特に犬や猫などが大好きです。私も子供のころから、たくさんのペットと暮らしてきました。犬やうさぎ、

トカゲやアヒルまで飼ったことがあります。私のようなケースは珍しいとは思いますが、ペットを飼っている日本人もたくさんいるのでお分りになると思いますが、こういう動物はすぐに家族の一員となります。しかし、不幸な事に、状況が変わって、家でペットを飼い続けることができない、もうこれ以上ペットは要らないといって人間の愛情や保護を必要としているペットを捨ててしまう人たちもいます。

このような理由で、アメリカには何千ものアニマル・シェルター（動物保護施設）があります。アニマル・シェルターは非営利団体で、飼い主が飼う事が出来なくなって捨てられたペットを保護する施設です。だれでもこのシェルターを訪れて、小額の値段でペットを購入することが出来ます。しかし、予算が限られているために、こういうシェルターに動物達がいられるのはたいてい1週間か2週間だけです。悲しいことに、この期間内に新たな飼い主が現れない場合は、せっかく保護された動物は殺されてしまいます。

しかし、なかには“ノー・キル・シェルター”といって、どんな状況であっても、もらい手があらわれるまで捨てられたペットを保護しておくというシェルターもあります。こういうシェルターは、寄付によって運営されているので、そのような帰る場所のない動物を保護しておくことが出来るのです。

さて、みなさんに考えてほしいことがあります。札幌には、そして日本には、このようなアニマル・シェルターがありますか？私がこれまで聞いた限りでは、とても少ないようです。私が知っているシェルターは、大阪にある「アーク」という施設だけです。帰るところなくなってしまった日本のペットは、いったいどうなってしまうのでしょうか？保健所はこういう動物を捕獲して、数日間小さな檻に入れておきます。そして、もし誰も引き取りに現れなかったら、このおびえた犬や猫たちは殺されてしまうのです。

多くの日本人は動物、とくに犬や猫が大好きであることを私は知っています。でも、こういう帰るところのない動物の過酷な状況はあまり知られていないのではないかと思います。それで、もしこの次、迷いネコや犬を見かけたら、どんなにそのコがおびえているのか考えてみてください。もしかしたら、あなたが助けてあげられるかも知れません。もし私たちが、こういう帰る場所のない動物達のことについて考えてあげられたら、状況を良い方向に変えていくことが出来るのです。

最後に、アニマル・シェルターのことについて何かご存知でしたら、どうか私にどこにあるか教えてください。私はぜひそこでボランティアをしたいと思っているのですが、まだ、札幌のシェルターをみつけることができないでいます。ありがとうございました。

ニコラス・トーセック (アメリカ) 札幌市教委ALT(男性)

こんにちは。私はニック・トーセックといいます。米国出身で、ジェット・プログラム(The Japan Exchange and Teaching Programme～略称:JET プログラム「語学指導等を行う外国青年招致事業」)により来日して、現在は、青葉中学校で教えています。今月は2月ですが、この時期には中学3年生は、近づく「高校入試」のために一生懸命勉強し、思い悩み、よく眠ることも出来ません。制度はいたってシンプルです。入試での点数によって、その高校に入れるかどうかが決まるのです。理論上は、試験によって、その生徒がその高校でやっていくだけの力があるかどうか見極めることが出来ます。しかし、実際には、多くの生徒は、この一回の試験のために非常なストレスを受けることとなります。

学校がそのレベルに見合った生徒を選ぶという入試の役割は理解できますが、その方法には同意しかねます。ふつうの中学校の2年生か3年生に、なぜクラスメートより一生懸命英語を勉強するのかと聞いてみたら、答えはほとんど「ナニナニ高校に入りたいから。」でした。良い高校に入りたいからというのがはたして外国語を勉強する理由として良いことでしょうか。たった一度きりの試験に合格するためにだけ、3年間懸命に勉強するのが正しいことなのでしょうか。私にはそうは思えません。

入試は生徒に目標を与えます。試験に合格するという目標です。生徒は高校入試に受かれば、良い大学に行けるし、良い大学を卒業すれば良い職業につけると考えます。問題は、試験が良い職を見つけるという目的に向け

てのステップではなく、試験そのものが目的になってしまっている事です。生徒たちは、知識を得るためではなく、試験に受かるがために勉強をしてしまっているのです。私はもっと生徒たちの才能を広く伸ばす事が必要だと思います。生徒たちがこれまでやってきた事の実績、つまり、先生方からの推薦の手紙とか、作文、これまでの業績の記録などをまとめた身上書のようなものをもっと重視すべきだと思います。試験は必要だとは思いますが、もう少し比重を軽くすべきです。一回きりの試験によって、すべての生徒を公平に評価することなど出来ません。ですから、もし生徒が入試に落ちたとしても、再挑戦するのに丸1年も待たせるのではなくて、同じ年度内にもう一度受けさせてあげるべきだと思います。当然、高校にとってはそのように二度目で受かった生徒を熱烈歓迎するとはいえないかもしれませんが、でもこうすることによって、たくさんの生徒にこれまでなかったようなセカンド・チャンスを与えてあげることが出来るのです。

教育の目的は、こどもたちを教育するという事です。大切な人生の夢が、ただ一度のテストの失敗で打ち砕かれてしまったら、その目標を達成する事が出来ません。大人もこどもも失敗はします。そしてそういう失敗から立ちあがる力こそが、人を偉大にするのです。中学校の生徒たちは、たいいて一生懸命勉強しています。私たちは、どんなに彼らがこれまで一生懸命勉強してきたのか示す機会を、ちゃんと与えてあげられるようにしていかなければならないと思います。

クマル (インド) JICA海外技術研修員(男性)

みなさん、こんにちは。私はインドのカルカッタから来ました、ザトゥカン・サリル・クマルといいます。JICAの研修員で、日本には4ヶ月います。インドでは、調査研究施設で働いておりまして、日本へは自分の調査研究の仕事をさらに発展させるために来ました。現在札幌医科大学の小林教授のもとで研究しています。今日は札幌のこと、それから私の国インドのことについて話したいと思います。

私にとってこのような寒冷地、雪の多い地域に来るのは初めての事です。インドは暑い国で、今の気温は20度から30度ほどです。でも、札幌の-5度、-10度の気温を楽しみたいと思っています。それから日本の人たちのことについても話したいと思います。日本の人達はとても良い方ばかりで、私をあたたく迎え入れてくれ、いろいろと手助けをしてくれています。また、とても勤勉だと思います。それから、わたしは札幌の地下鉄が大好きです。インドにも地下鉄がありますが、札幌の地下鉄の方が好きです。JICAはインドでいろいろな援助をしてくれています。科学的な調査研究をするための研究施設もいくつか建ててくれました。

それから私の国インドについても話したいと思います。インドはとても大きな国で**【資料：国土面積は日本の約9倍。人口11億人？】** いま人口は世界で2番目です。首都はニューデリーですが、そのとなりにもう一つ大きな都市デリーがあります。ぜひインドを訪れてみてください。歴史のある場所がたくさんあります。タージマハルのことはみなさんもお存知だと思います。ムガル帝国の第5代皇帝シャー・ジャハーンが愛妃のために建てた、とても美しい建物(廟)です。他にもアグラ城など素晴らしい場所がたくさんあります。ぜひインドを訪れ、インドを楽しんでみてください。最後に、みなさん、今日はどうもありがとうございました。

アンジェラ・ニコラス (オーストラリア) 札幌東商業高校ALT (女性)

みなさんこんにちは。私はアンジェラ・ニコラスです。札幌東商業高校でALT、英語の補助教員として教えています。日本には2年半ほど前に来ました。オーストラリア**【資料：国土面積は日本の約20倍。人口2,291万人】**の南に位置するアデレード市出身です。皆さん、アデレードをご存知でしょうか？ アデレードは人口120万人で、静かできれいなところですが、あまり大きくはありません。日本に来たのは、高校で日本語を勉強していたからなのですが、私の日本語はあまり上手ではありません。ごめんなさい！私が日本語をあまりうまくできないわけは、記憶力が良くないからで、単語をたくさん暗記できないからなんです。でも、日本が大好きで、特に札幌が好きです。日本のいろいろな場所を旅行で訪れましたが、札幌が一番好きです。京都、奈良、そして名古屋の万博も見に行きました。山形、仙台にも行きましたが、やっぱり北海道、そして札幌がわたしの一番好

きな場所です。札幌は、私の故郷アデレードとは大変気候が違います。アデレードは乾燥していて暑く、雪も全然なくて、冬の平均気温は10度くらいです。日本に来る事になったとき、雪を経験してみたかったので、札幌に來たいとお願いしました。オーストラリアでは、冬にはビクトリア、サウスニューウェールズ、タスマニアの山岳地帯などで少し雪が降るのですが、冬はとても短くて、1ヶ月半か、長くても2ヵ月です。ですから、この北海道の冬がとても好きです。アデレードの冬はなんだかぱっとしません。雪が降らないので何もできないのです。寒くて雨が降るから戸外での活動もできないし、雪が降らないので雪を楽しむ遊びもできません。アデレードの冬はひどいものです。でも、夏のアデレードは大好きです。私がとても驚いたのは、北海道の夏はアデレードに比べてとても湿気が高い事です。こんなに北の方にあるのに、それでも湿気があるんですね。アデレードはとても乾燥しています。ですから、とても違うんですね。私は、夏は乾燥している気候の方が好きです。

この北海道マサチューセッツ協会についてですが、私はマサチューセッツ州のことについてあまりよく知りません。まだアメリカに行ったことがないので、いつか行きたいと思っています。私と一緒に教えている西先生は——あそこに座っていらっしゃいますが——去年10月にマサチューセッツ州に行ってきました。

私たちの札幌東商業高校にも、米国の生徒が訪れた事があります。アメリカの高校生を受け入れたのは、とても有意義な経験でした。もし、もっとたくさんの高校生が北海道を訪れて、またこちらの高校から生徒をマサチューセッツ州やオーストラリアへ送るような、そんな交換留学プログラムがあったらいいと思います。外国へゆき、そこで暮らしてみるというのは、たとえ短い期間であっても、その経験はすばらしいものとなるので、そのような機会があったらいいと思います。ありがとうございました。

ドニオル (ウズベキスタン) JICA海外技術研修員 (男性)

皆さんこんにちは。私はドニオルと申します。ウズベキスタンから来ました。みなさんは、ウズベキスタンのことについて聞いたことがありますか？**【資料：国土面積は日本の約1,2倍。人口2,300万人】**

わたしは、ウズベキスタンの首都タシケントから来ました。ロシアの南、中央アジアに位置しています。大阪から直行便が出ていて、タシケントまで飛行機で9時間です。現在タシケントでは気温は12度くらいです。あ



ちらにも雪の季節はありますが、札幌ほど長くはありません。1ヶ月か1ヶ月半くらいです。そして札幌の雪に比べると、だいぶ湿気を帯びた雪です。ウズベキスタンで私の一番好きな季節は春です。ウズベキスタンには歴史のある町がたくさんあり、世界中から観光客が訪れています。サマルカンド、ブハラ、ヒワといった地名をお聞きになったことがあるかもしれません。これらの都市には野外博物館、市営博物館などがあります。ウズベキスタンからは今日はもうひとり、ここに座っているマンスルベクも来ています。2人とも、JICAの研修員で、ここに来て1ヶ月になります。あと一週間で故郷に帰ることになっています。私は札幌がとても好きです。とくに、札幌の人達が好きです。気温はとても寒いのですが、札幌の人達の心はとても暖かです。他の日本の都市、名古屋、大阪、函館も訪れたことがありまして、いろいろな観光名所があつて、どこもそれぞれに違っていますが、札幌が一番好きで、次には函館が好きです。このランチ・パーティにお招きいただきまして本当に嬉しく思っています。皆さんといろいろ楽しくお話することが出来ました。北海道マサチューセッツ協会のことは、いままで聞いたことがありませんでしたが、この協会のことについてよく知りたいので、パーティの後でいろいろ調べてみようと思っています。今日はありがとうございました。ウズベキスタンをぜひ訪れて、そしていろいろな歴史のある場所に行き、楽しんでください。

マンスルベク (ウズベキスタン) JICA海外技術研修員 (男性)

皆さんこんにちは。私の友達ももうすでにいろいろお話してしまったので、私は北海道の印象について話したいと思います。私は北海道の人達がとても好きです。ここに来て1ヶ月になりますが、たくさんの人に出会うことが出来ました。ホームステイも経験しましたが、北海道の人達は私をとても暖かく歓迎してくれました。JICAで地域開発について勉強しています。北海道は、日本の他の地域にくらべると歴史の新しい場所ですが、北海道はいろいろな発展を遂げ、他の地域とは違う、とても近代的なところだと思います。北海道のひとたちがこのように作り上げていった近代化の歴史はすばらしいと思います。ありがとうございました。

メイブ・デリー (アイルランド) 札幌市教委ALT (女性)

みなさん、こんにちは。始めに、今日のこの会にお招き頂きましてありがとうございました。ランチをおいしく頂きましたし、みなさんと楽しくおしゃべりすることが出来ました。とても良い時間を過ごすことが出来ました。私はアイルランドから来ました。アイルランドについて少し紹介させてください。

アイルランドは、ほぼ北海道と同じくらいの大きさです。**【資料：国土面積は日本の約5分の1。人口366万人】**小さい国ですが、緑がとてもきれいです。とても雨が多いので、そのために緑の景色がきれいです。雪はあまり降りません。ですから、札幌の雪は、私にはとてもショックでした。と同時に、とても貴重な体験ですので大いに楽しんでます。アイルランドではみんなクリスマス時期になると「今年のクリスマスには雪が降るのか降らないのか」と話したり、賭けをしたりします。アイルランドではホワイトクリスマスが理想なので、毎年雪のあるクリスマスを願うのです。雪が降ったとしても、2日か3日くらいしか降らないので量はそれほど多くありません。私は北海道が好きです。このような気候を経験することができてラッキーだと思っています。

アイルランドの文化についてもすこしお話ししたいと思います。アイルランドにはケルト文化があり、私たちはほとんどケルト民族です。固有の言語もあつて、アイルランド語を話します。もちろん英語も日常語として話すのですが、その他にも自分たち固有の古くからの言葉があつて、それがアイルランド語なのです。アイルランド語をひとつお教えしましょう。みなさん、グラスを持ってください。アイルランド語で乾杯しましょう。アイルランド語での「乾杯」は「スロンチャ」です。スロンチャ！アイルランドでは、これはとても大切な言葉なんです。みんなギネスビールが好きですし、ベイリーズというアイルランドのチョコレート・リキュールもあります。そして何にもましてウィスキーが好きです。アイルランドにはお酒好きの文化があるのですが、ケルト文化の影響で、「ものがたり」が文化の重要な部分を占めています。数多くのアイルランドの伝説、古くからの昔話、神話などがあります。お話を上手に話することができる人は、「語りの才能がある」といわれます。

私の名前はメイブですが、メイブというのは昔のアイルランドの女王の名で、アイルランドの神話に由来するものです。またケルト文化には独特のダンスもあります。アイリッシュ・ダンスはとても有名ですね。みなさん、リバーダンスをご存知ですか？リバーダンスは世界中をツアーで回っていますが、足をとても早く動かす、タップダンスとアイリッシュ・ダンスをミックスしたような踊りです。最近リバーダンスが日本を訪れたのは、丁度3ヶ月前です。仙台、名古屋、広島、そして東京で、10月から11月にかけて公演を行いました。

最近では、日本でもセントパトリックデイ(聖パトリックの祝祭日)を祝うところが出てきました。セントパトリックデイはアイルランドでは大きなお祭りです。東京でも聖パトリックの日にパレードやパーティをしているところがあります。みなさんお聞きになったことがあるかもしれませんが、これは古いアイルランドのお祭りで、3月17日が「セント・パトリック・デイ」となります。もうすぐなので、私も楽しみにしています。今年は青森県弘前でセント・パトリック・デイのお祝いの準備を手伝っているところです。聖パトリックというのは守護聖人でアイルランドにキリスト教を紹介した人物です。それで、とても有名なのです。毎年、アイルランド人にとってこの祝日を祝うのがとても大切なことなのです。

時間もなくなってまいりました。今日このランチセミナーにご招待いただきましたことに、もう一度感謝申し上げます。私は、札幌で教育の一端を担うことができとても幸運だと思っています。短い期間ではありますが、日本の教育システムのすばらしいところをたくさん見つけました。学校給食はとても体に良いですね。アイルランドの人たちにも教えてあげたいです。とてもヘルシーだと思います。ホームルームのシステムもとてもおもしろいと思いました。いろいろな部活、スポーツ活動などで、先生が生徒たちに毎日関わっています。若者たちのために、大勢の人がすばらしい活動をいっしょうけんめいなさっています。ここにはとても勤勉に働く先生達がいっぱいいます。そんな先生方と一緒に働くことができ、とてもうれしく思っています。アイルランドにもこういう良いところを持ち帰りたいです。ありがとうございました。

アイグル (キルギス) JICA海外技術研修員 (女性)

みなさんこんにちは。私はアイグルと申します。キルギスから来ました。【資料：国土面積は日本の約2分の1。人口458万人】私の国はカザフスタン、ウズベキスタン、タジキスタン、中国に囲まれている山地国で、緯度的にはニューヨークやイタリア、トルコ北部、日本とだいたい同じです。ですから、私たちの国の気候は日本の気候と似通っています。夏は暑いですが、でも冬はこれほどは雪がありません。1991年独立以来、社会経済の改革が行われていますが、貧困の問題や経済状況を改善するという困難な仕事を行っている最中です。そのための研修で私たちは札幌に来ているのです。今日のランチセミナーに招いてくださった主催者の方にお礼を申し上げます。お蔭で日本の方といろいろお話ができて、たくさん日本のことを知ることが出来ました。JICAにも感謝の言葉を申し上げます。私たちに、困難な問題を解決する手助けをする機会を与えて下さったことを感謝します。さきほどの、インドから来た方からの意見に私も賛成なのですが、北海道の人たちはとても温かい心の持ち主だと思います。また、オーストラリアから来た方の意見にも賛成です。私も札幌が一番だと思います。私たちも名古屋や函館、大阪などいろいろな日本の都市を訪れました。大阪はとても暖かだったのですが、やはりみんな札幌に帰りたいたいと言っていました。みなさん礼儀正しくて、そしていろいろな手助けをしてくださって、また様々な経験をお話してくださって、ほんとうにありがとうございました。それでは、これからジャズグルが私たちの国の国歌を歌います。

ジャズグル (キルギス) JICA海外技術研修員 (女性)

はじめまして。ジャズグルです。キルギスから来ました。よろしくお願ひします。札幌の人たち、そして魚が好きです。私は英語があまり話せませんので……、すみません。キルギスの国家を歌います。

【アイグルさんと二人で歌う】 (会場から拍手) …… ありがとうございました。

姉妹都市交流ニュース…七飯町とコンコード町

国際交流員バートン・ベイツさん帰国

コンコードからの第4代国際交流員バートン・ベイツ氏(24歳)は、2004年10月から七飯町の企画財政課国際交流係に勤務していましたが、2007年1月31日任期満了となり帰国されました。以下にバートン氏の挨拶文をご紹介します。

*

Concord and Nanae have created a unique opportunity for there communities. By extending the hand of friendship 13 years ago they have made the world a smaller safer place where even across oceans and land masses friends can be found. No one truly knows there community until they have to show it to other people you never see the beauty of your town until you have to help others look. I have enjoyed looking at Concord and Nanae with many eyes, those of friends, teachers, co-workers and those closets to me.

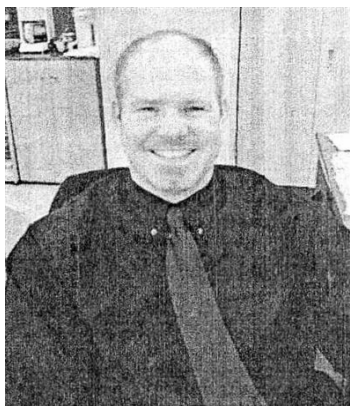
コンコードと七飯町はお互いに珍しい交流の機会を持ちました。13年前に交流の始まりとなる手を差し伸べ合い、今では海や大陸を越えて互いの世界をより近づけより安全なものとなりました。自分の町を、住んでいる地域を本当に知っている人はいないでしょう。他の人に紹介し、その美しさなどを伝えようとして客観的に見つけ初めてその本質に気づくのです。私は今までコンコードと七飯町をたくさんの観点や機会から見てきました。友人、先生、同僚、周りの人々。

Nanae and Concord both have a rich history of first. Concord was the start of the revolutionary war and Nanae the start of the agricultural revolution and of foreigners coming to Japan. In Truth our relationship started 150 years ago with William Wheeler coming to Nanae and sharing western technology and learning eastern wisdom. I am honored to be apart of such a legacy.

七飯町とコンコードは誇りある歴史を持っています。コンコードはアメリカ独立戦争の始まりの場所で、七飯町は西洋農業の始まりの場所です。実のところ、コンコードと七飯町の関係は 150 年も前にウィリアム・ウィーラーが七飯町を訪れたことですでに始まっていたのです。彼は西洋の技術を伝え、東洋の知識を持って帰りました。この受け継がれて行く歴史の一部に自分がいることを誇りに思います。

I have lived in both Concord and Nanae and can fully see the beauty of each as I have shared the towns with each other. In this turbulent time having foreigners be friendly faces and names can be the start of global peace. This relationship of Concord and Nanae has deeply enriched my life and I have been honored and privileged to help the relationship grow and my hope is it continues and enriches everyone involves lives. Thank you all for the opportunity to become a part of your town and your life and have it become such an important part of mine. I hope you all see the beauty of your town and its people and you can one day see the beauty of your sister city so far yet so close Concord Massachusetts.

私はコンコードと七飯町に住み、両町をたくさんの人に紹介してきて、今両地域の美しさがよく分かります。私のように外国の人が他の国に住み、地域に溶け込むことが世界平和の一步となるのではないのでしょうか。この姉妹都市交流に関わったことで私の人生はより



【笑顔のバートン・ベイツ氏】 豊かになりました。また仕事として交流関係を深めるお手伝いができることを嬉しく思います。私の願いはこの関係がこれからも続いて、皆さんがより参加してくれることです。最後に、七飯町に住む機会、皆さんにお会いできる機会を与えていただき本当にありがとうございます。この経験は私の人生の中で大切なものとなりました。皆さんももう一度この素晴らしい町民のいる素晴らしい町七飯町を見つめて下さい。そしていつか遠く近いマサチューセッツ州コンコードを訪れてお会いできるのを楽しみにしています。

姉妹都市交流ニュース・・・(社)滝川国際交流協会

滝川国際交流協会ダブル受賞 一総務大臣表彰・北海道知事表彰一

(社)滝川国際交流協会(前田康吉会長)は、設立 15 周年に当たる節目の年に、永年にわたる米国マサチューセッツ州スプリングフィールド市との姉妹都市交流、アフリカ、マラウイ共和国への農業技術支援や JET プログラムへの積極的な取組みなどが高く評価されて、「平成 17 年度地域づくり総務大臣表彰」を受賞(1 月 17 日)しました。あわせて「平成 17 年度北海道社会貢献賞(国際協力功労者)」の北海道知事表彰(1 月 31 日)も受賞されました。

ここに、滝川国際交流協会の本道における国際協力事業に対する多大の貢献をされた実績をたたえてお祝い申し上げ、広くご紹介しておきたいと思います。



吉沢慶信副知事より表彰を受ける前田康吉会長(1 月 31 日道庁知事)

今回、北海道とマサチューセッツ州の姉妹提携15周年記念訪問団の一員として参加できたことを私の夢の実現の第一歩にしたいと思っております。

私の夢は、北海道の高校生をアメリカのマサチューセッツ州にもっと送りこむことです。そして、「マサチューセッツ体験」をしてもらうことです。期間は2週間、時期は春休み(3月下旬から4月上旬)が適当と考えています。生徒の費用は無料です。(それが無理ならば、半額参加者負担、残りの半額は主催者負担、最初は少人数(2人)ではじめたいと思います。ホームステイをして、アメリカの高校で授業を受けます。こういう体験が生徒の人生の起爆剤になる可能性があると思います。これが私の夢です。ぜひ北海道・マサチューセッツ協会の企画実施を期待します。

マサチューセッツ州はアメリカ建国の地です。プライドがあります。ニューイングランドと呼ばれ、ポスンはイギリスの香りがします。質素で堅実な土地柄です。信仰の自由と独立を求めて、ピューリタンが上陸した場所です。親密な友好交際関係にあるコンコードはアメリカ独立戦争の古戦場です。若草物語(オルcott女史)の故郷でもあります。エマソン、ソーローなどの哲学者も生んでいます。

有名な「ボーイズビーアンビシャス(青年は大志を抱け)」のクランク博士もマサチューセッツ州出身です。札幌農学校(北海道大学)で彼の教えを受けた人物には新渡戸稲造、内村鑑三などがいます。また、ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学などの名門校もあります。マサチューセッツ州立大学は北海道大学の姉妹校です。京都に同志社大学を創立した新島襄はアマースト大学を卒業しています。

北海道の高校生には、この重厚な歴史のある「マサチューセッツ体験(MA体験)」をしてもらいたいと思います。理由は、アメリカ人の心の原点、自主独立、自由、気風、誇り、率直でたくましい、開拓者スピリットに直接触れてほしいからです。いつまでも中央依存体質の北海道に欠けているものがここにはあると私は感じています。この「マサチューセッツ」で北海道の未来を語り合いたいのです。北海道を元気にしてくれた先輩たちの質素で堅実で信仰心ある土地、北海道開拓の時、力を貸してくれたアメリカ人の心の故郷で、私の夢の実現にご賛同、いただければ幸いです。

このような、高校生の海外留学派遣プログラムの実現を、学校現場からぜひ応援、する次第です。

◆◆◆◆◆事務局短信◆◆◆◆◆

「2005年マサチューセッツ州訪問団 報告書」を作成しました

この度、昨年、2005年10月に実施しました北海道・マサチューセッツ州姉妹提携15周年記念訪問団派遣事業の記録「報告書」(約50頁)を1冊にまとめて発行(2006年2月18日)しました。

内容は、ファクトシートの頁(4頁)、派遣事業の記録(17頁)、参加者の訪問記(10頁)、新聞記事・英文資料等(15ページ)となっています。当協会財政難のため実費領布(100円・送料200円)とさせていただきます。ご希望の方はご連絡下さい。

「マサチューセッツ観光局日本事務所」の開設ご案内

この度、日本でのマサチューセッツ州の知名度向上、及び日本人旅行者の誘致に努めることを目的として、上記の事務所が開設しましたので、マサチューセッツ州に関する情報収集などにご利用下さるようご案内いたします。

〒100-6011 東京都千代田区内幸町2-2-3

日比谷国際ビル B1F西アクセス内

「マサチューセッツ観光局」

TEL 03-3595-7825

FAX 03-3593-7822

◆◆◆◆◆事務局短 信◆◆◆◆◆

第3回ノーブルズ高校短期交換留学プログラムの先生・生徒一行来道予定(約2週間)

マサチューセッツ州ノーブルズ高校グラハム先生と生徒7名が6月17日(土)～7月3日(月)の日程で来札、札幌国債情報高校に短期留学します。隔年毎のプログラムで今回は3回目の来札になります。札幌滞在中は、ホームステイや当協会のプログラムによる日本古典芸能・文化体験や札幌市・小樽市観光、国際交流セミナー(6月24日(土)・ヒルトン小樽)参加なども予定しています。

今回は、グラハム先生とイバン・ニエグエス先生、お琴のキャサリン・アヤカノ・リード先生も同行されます。

今年はクラーク博士来道130周年ー曾孫10月来道予定

今年2006年はクラーク博士来道130周年になります。それを記念して、クラーク博士の曾孫スチュ・クラーク氏が10月初旬来道の予定です。(詳細日程は未定)

スチュ・クラーク氏は米国アラスカ州スワード市の元市長の要職にあった方で、今回の訪問は、帯広市とスワード市が姉妹提携(1968年)の国際姉妹都市の関係にあるので、帯広市と札幌市に來訪される予定です。

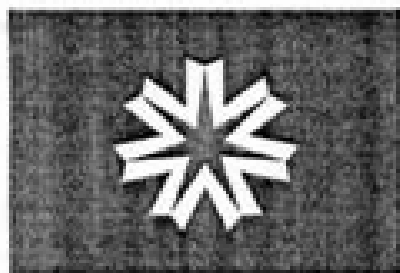
新入会員紹介(2005年12月15日以降) <個人会員>

渡部 大三郎 田中 眞一

道旗・州旗の小旗(卓上用)を作成しました

この度、北海道の「道旗」とマサチューセッツ州の「州旗」を訪問交流の折のお土産として作成しました。このミニフラッグは、ヨコ14cm×タテ10cmで卓上スタンド付です。

会員の皆様でご希望の方がいましたら事務局までご連絡下さい。(実費頒布いたします。)



北海道の「道旗」



マサチューセッツ州の「州旗」

平成18年度 理事会・総会・ミニコンサートのご案内

新年度の予定をご案内いたします。5月9日(火) 13:30～14:50 理事会・15:10～16:10 総会、16:30～16:50 ミニコンサートを予定しています。ミニコンサートは、元札幌クラリネット奏者渡部大三郎氏と新進気鋭のドラム・パーカッション奏者新村泰文氏による、後藤丹作「道化役者」、ガーシュイン「サマータイム」を予定しています。会員多数のご出席をお待ちしています。

より美しくーより速く

まごころを伝える情報づくりが
私たちの仕事です。

情報化社会に素早く対応できるよう最新のシステムで、みなさまのおこしをお待ちしています。なんでも気軽にご相談ください。

●●つみす印刷株式会社

〒060-0009 札幌市中央区北9条西23丁目 TEL (011)641-5373
FAX (011)611-4343

.....静かな雰囲気、お召し上がりやすい、中国家庭料理の味をお楽しみください.....

珠 華 飯 店 中国料理 平岸店

週替りランチタイムセット

大好評 コース料理 <7品>

〔時間〕 11:30~14:00 650円

1人前 2,500円より

1品料理 + (ライス・スープ・デザート)

- ◇ こだわりの中華70品以上あります
- ◇ 5~6名様には1品サービスいたします
- ◇ 小上がりもあります
- ◇ 少人数団体・小宴会ご予算に応じます
- ◇ 国際交流も静かな雰囲気できます
- ◇ テイクアウト可。出前も承ります

(ランチセットの出前はお断り下さい)

珠 華 飯 店 平岸店

札幌市豊平区平岸4条9丁目2-8

(TEL) 011-824-1603

営業時間：午前 11:30 ~ 午後 9:00

P有 [定休日 / 毎週火曜日]



新企画……開拓使通り[ケプロン通り]を歩く歴史散策……

平成18年度 北海道を知る歴史発見の旅 第4回～赤レンガ・北3条通りコース

日 時 平成18年9月9日(土) 10時～14時30分
場 所 道庁赤レンガ～北三条通り～旧永山武四郎邸～
開拓使麦酒醸造所～レンガ館1F「ビヤケラー札幌開拓使」昼食会
参加費 会員・学生2,500円・一般3,000円 (昼食代・資料・写真代他)

散策コースの紹介

① 赤レンガ庁舎を見学する

明治19年(1886)北海道庁設置。初代長官岩村通俊が赤レンガ庁舎建設にあたり、米国マサチューセッツ州庁舎をモデルとしたアメリカネオバロック様式の洋風大建築物(10階建のビルに相当する高さ)として明治21年(1887)に完成しました。塔頂部の八角塔は、開拓使顧問ケプロンの計画によって建てられた開拓使本庁舎(明治6年(1873)建立—明治12年(1879)焼失)を模したものです。以来80年にわたり、北海道の拠点となりました。明治42年(1911)の火災により内部を焼失しましたが、昭和43年(1968)の開道百年記念の復元工事等を経て国の重要文化財に指定されています。現在は、「北海道立文書間」「北海道開拓記念館」等の展示室に、本道の歴史に関する資料や文書などが収集展示されており、すばらしい総合的な歴史博物館となっています。

② 北3条通りを歩く

北3条通りは北海道開拓の歴史と文化の薫るイチョウ並木の道です。平成元年(1989)に、「札幌都心部ロマネット計画(都心の顔づくり事業)」により、道庁正門前の西4丁目通りは、インターロッキングブロックが敷き詰められ、舗道はレンガ・白ミカゲ石で舗装されました。さらに15基のガス塔と12枚の札幌の歴史・観光のポイントを紹介したパネルが設置されています。

かつてのメインストリート「開拓使通り」と呼ばれた北3条通り一帯も、明治初期にはあちこちにメム(湧き水)が湧き出す肥沃な原野であり、豊平川の渡し守である吉田茂八と志村鉄一のほかは人家もまばらであったといわれます。慶応2年(1866)、元村(現・元町)に御手作場(農場)を作るために箱館奉行所から大友亀太郎が派遣され、農業用水を供給するために「大友堀」(現在の創成川)と呼ばれる水路を掘りました。開拓使設置以後、島義勇初代判官により大通と創成川を中心とした基盤目状の札幌本府構想が立てられ、岩村通俊第2代判官がそれを実現しました。岩村通俊は新しい市街地を造成するために、それまでの草葺屋根の住宅を一掃するための「御用火事」を起こすなど強引な街づくりを進めました。また、札幌の東西南北に公園を作る計画を立て、北の「偕楽園」、南の「中島公園」、西の「円山公園」を造成しましたが、東の「苗穂・・・」は実現できなかったといわれます。その後、多くの外国人指導者を招き、先進的技術導入に努めた黒田清隆、屯田兵の設置を進めた永山武四郎等の努力によって札幌は発展していきます。創成川の東側には、北海道開拓の基幹産業として多く官営農園・工場が作られ、葡萄園と葡萄酒醸造所、ホップ園と札幌麦酒醸造所、製麻会社、精糖製粉所、官営製油所、味噌醤油醸造所などがあったといわれます。

明治13年(1880)札幌～手宮(小樽)間に鉄道が開通しました。[日本の鉄道としては、新橋—横浜(明5)、大阪—神戸(明7)、京都—大阪(明10)に次ぐ4番目の開通]その後、明治42年(1909)には国鉄苗穂工場ができ、さらに大正時代になると、北3条通りの市電(西4丁目—苗穂駅前)も開通して、この街並みは賑わいのピークを迎えました。

③ 永山武四郎邸を見学する

永山武四郎は、明治11年(1878)屯田事務局長となりますが、札幌に私邸を建築しました。

明治 13 年ごろの建築と推測されています。和洋折衷の貴重な歴史的建造物です。その後、永山武四郎は明治 21 年(1888)第 2 代北海道庁官、明治 29 年(1896)第 7 師団長となっています。

この間、北海道の開拓・産業の発展につとめ、後年上川地方の開拓に力を尽くし上川地方に次々と屯田兵村が誕生しています。永山武四郎はこよなく北海道を愛した人で、明治 37 年(1904)67 歳で東京で死去しましたが、遺言により札幌で葬儀、豊平墓地(現在の里塚霊園)に葬られています。

④ 北 3 条通り・・・サッポロファクトリーへの歴史の転換

大正から昭和にかけて賑わいを見せた北 3 条通りも、この創成川以東は、昭和も戦後になると農地の宅地化が進み、多くの産業と住民が郊外へ移転していきました。さらに市電廃止(昭和 46)などにより北 3 条通りの様相も一変していきます。

今日、地域住民の新しいまちづくり運動が「都市再生プロジェクト」として各方面の協力を得て活発化しています。平成 5 年(1993)には、札幌麦酒醸造所跡地に「サッポロファクトリー」がオープンして、現在、北 3 条通りの新しい歴史が始まっています。

次に、サッポロファクトリー内の「開拓使麦酒醸造所」を見学しますが、これは、明治 9 年(1876)9 月、薩摩藩出身、英国留学の村橋久成(1842-1892)が北海道農業振興のために設立し、ドイツで本格的なビール醸造法を修業(明治 6～8 年)した醸造技師中川清兵衛(1848～ ?)との二人三脚で、翌年「札幌ビール」を誕生させた所です。その後、明治・大正・昭和と変遷の歴史をたどります。・・・

⑤ 「開拓使」の歴史を食べる？

最後は、サッポロファクトリーのレンガ館 1 F、昔の「開拓使麦酒醸造所」の総レンガ造り倉庫をそのまま使用している「ビヤケラー札幌開拓使」(TEL207-5959)でおいしい昼食会となります。この「ビヤケラー札幌開拓使」は、日本で一番古い官営ビール工場の貯酒蔵(倉庫)を活用して誕生した大ビヤホール・レストラン(540 席)です。

資料・・・日本のビールの歴史

江戸時代鎖国政策下、オランダ人がビールを持ち込み、それを蘭学者が飲んだのが日本人のビールとの最初の出会いです。

日本初のビール会社は、ノルウェー生まれでアメリカに帰化した醸造技師ウィリアム・コーブランド(1832～1902)が、「スプリング・ヴァレー・ブリュワリー」という醸造所を建設し、明治 3 年(1870)横浜で製造を開始しました。(→明治 21 年(1888)より「キリンビール」になる)横浜に居留する外国人などに飛ぶように売れたといわれます。そして日本人の間でも「天沼のビアザケ」と呼ばれ大いに親しまれたそうです。しかし、その後経営不振となり、明治 18 年(1885)「ジャパン・ブリュワリー」に引き継がれ、明治 21 年(1888)より「キリンビール」として販売されるようになりました。

明治 4 年(1871)の岩倉具視の欧米の文化視察の後、日本の数ヶ所に官営の醸造所を計画しましたが、明治 9 年(1876)誕生の「開拓使麦酒醸造所」だけが、「札幌冷製麦酒」というラベルの日本最初のビールの販売にこぎつけたのです。・・・札幌は、わが国の官営ビール発祥の地なのです。しかし、その後十分に成果をあげることができず、民間の大倉組に払い下げられ、明治 22 年(1889)「札幌麦酒株式会社」に発展していきます。大阪でも明治 22 年(1889)「大阪麦酒株式会社」が設立されています。優秀な醸造技師生田秀(1858～1906)技術により「アサヒビール」として順調に売り上げをのばして、名実ともにビール界に君臨していました。この頃、この三大ビール会社の他にもう 1 社、明治 20 年(1887)に設立された「日本麦酒株式会社」がありました。この「エビスビール」は、一時苦境に陥りましたが、三井物産重役の馬越恭平氏に再建され、東京地方に強い販売力を確立していきます。しかし、明治 33 年(1900)札幌麦酒の東京進出によりその地位もすこしづつ奪われていきました。そして、農商務相の勧告により、明治 39 年(1906)9 月の「大日本麦酒株式会社」という大手三社を統合させた一大ビール会社の誕生となります。その後も、たくさんのビール会社が出現しては、消えていきました。

戦後のビール会社は大日本とキリンの 2 社だけとなりますが、昭和 24 年(1949)「大日本麦酒」は「日本麦酒(現サッポロビール)」と「朝日麦酒(現アサヒビール)」に 2 分割されました。さらに、一時期のタカラビール、昭和 39 年(1964)からのサントリービール、沖縄のオリオンビールなどがあります。

乗馬



おすすめ

乗馬セラピー

人間の心身の健康にさまざまな癒しをもたらす「アニマルセラピー」が注目されています。「乗馬セラピー」は古代ギリシャ時代に傳った兵士のリハビリに使われた歴史からはじまるといわれます。乗馬は循環器や呼吸器に良い影響を与え、新陳代謝の改善・運動器官や平行機能・情緒面にも良い効果があるといわれます。ぜひ、日常的なストレス解消に・美容と健康にお役立て下さい。いろいろな楽しみ方もあります。

国際交流のおもてなしにも協力させていただきますので、ぜひご相談ください。利用しやすい都市型の乗馬クラブで、25頭の馬とスタッフが皆様のおいでをお待ちしています。

体験乗馬チケット

通常料金 25,200円
(騎乗料・指導料・消費税込)

10,000円

【4回×30分】期間無し

※入会金及び年会費は必要ありません

■5級技能認定コース

■(社)全国乗馬倶楽部

振興協会公認

指導料・認定料別

50,000円 (消費税込)

■メンバー料金

入会金 50,000円(税別)

年会費 40,000円

騎乗料 3,000円(30分)

指導料 1,000円(30分)

■ビジター料金

騎乗料 5,000円(30分)

指導料 1,000円(30分)

※会員・ビジター料金はとも税別

- 思い出という財産を作ってみませんか。
- かのG1人気馬マイネルブリッジ号、マイネルヒーロー号他、多数の馬が待つております。
- あなたと馬の思い出の写真・引馬も可能
- 乗馬は何歳からでも、動物好きなあなたを自然な緑の中に！
- 乗馬を楽しみながらダイエット！
- 入場・ヘルメット・長靴貸出し無料
- 定休日／毎週月曜日 ●夜間乗馬可
(朝し、雨り替え休日の場合は営業いたします。)
- 冬期間営業 (1/1～12/30)

- JR恵み野駅下車徒歩10分
(東口イートーヨーカドー側よりタクシーワンメーター)

(有) すずらん乗馬クラブ

代表取締役 社長 濱田 桂子

(北海道・マサチューセッツ協会 会員)

T E L 0123-36-6386

F A X 0123-37-1666

住所 北海道恵庭市西島松548

初心者・見学者・大歓迎

公認インストラクターが親切にご指導致します。

ホームページアドレス

<http://www.north-wind.ne.jp/suzuran>

